

糸棚の特長と導入事例

特長

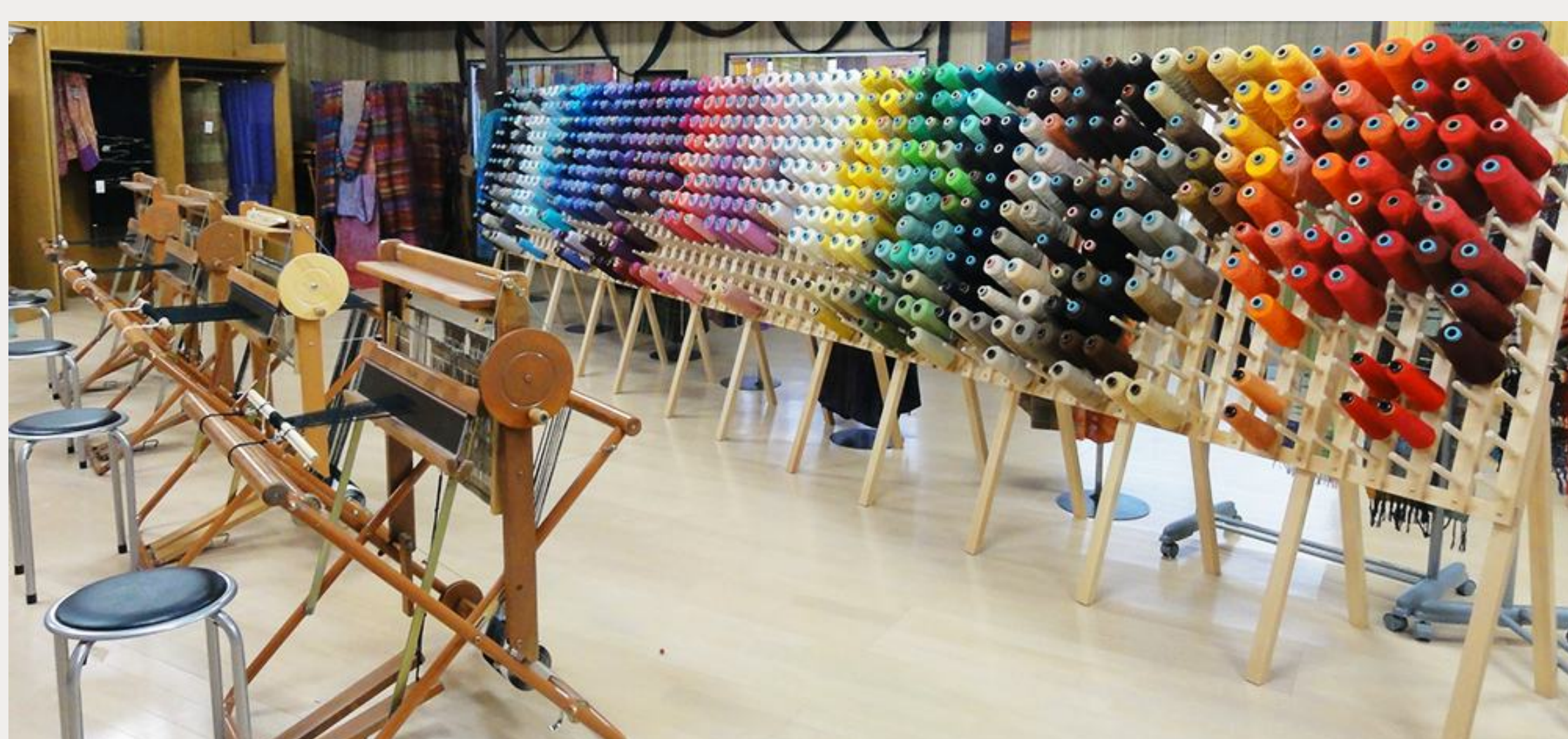
「見せる収納」を超えて、SAORIの糸が美しく並ぶオリジナルの「飾る糸棚」です。SAORI糸にぴったり合うように設計されています。

252本の糸をディスプレイできる「糸棚252」と、132本をディスプレイできる「糸棚132」の2種類があります。材質は整経台と同じトガ（別名ツガ）を使用しているため頑丈です。トガは建築材などによく用いられる針葉樹で、狂いが少なく、重硬なのが特長です。また、目一杯糸を飾ってもぐらつきがない様に重心を考慮した足が付いており、自立する上に奥行きが薄く、圧迫感ありません。普通の収納棚と違って、すべての糸がとても見やすく、取りやすい上、見た目にもとても美しい糸棚です。糸棚132は、2種類の高さの足が付属しており、長い足を取り付けると、車椅子に座ったままでも糸を取りやすい高さになります。低い足を付ければ、カウンターの上に置いたり、お持ちの収納家具の上に設置することも。横にただ並べるだけでも継ぎ目が目立ちませんので、わざわざ連結する必要もありません。設置後の棚の移動も負担なくできます。

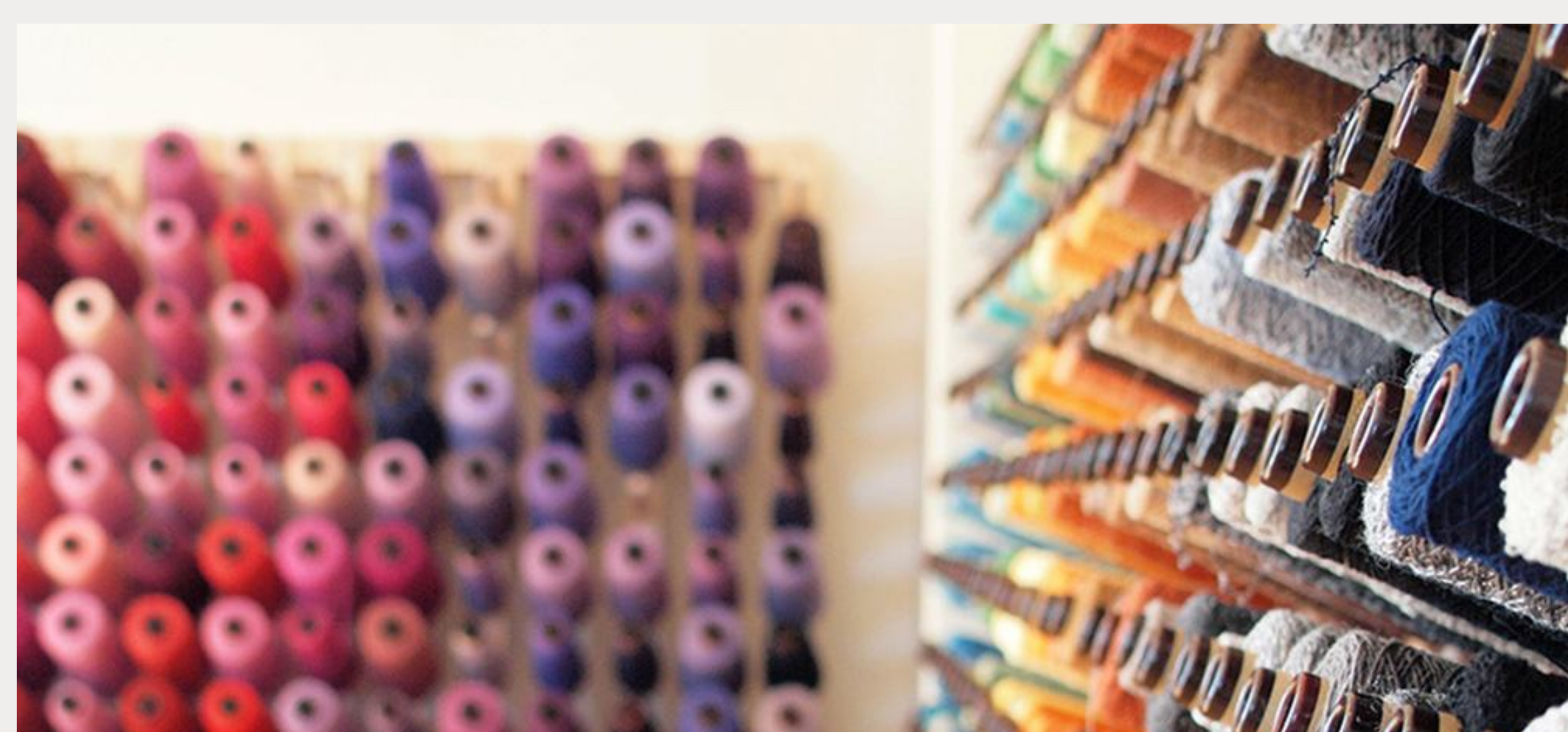
壁一面に並べたり、部屋の真ん中に置いて間仕切りとして利用したり。好みに合わせて様々な使い方ができます。

ご自分のアトリエに、教室に、作業所などの福祉施設に。「使いやすさ」と「美しさ」を兼ね備えた糸棚です。

導入事例



震糸棚132をご利用いただいているお客様の教室の様子です。教室の中央に糸棚132を並べて間仕切りとして利用しています。糸のある表面を教室スペースに向け、背面側にはボディを並べて、ギャラリースペースとして演出しています。背面も美しく仕上げられているので、間仕切りとしても効果的です。



手織適塾SAORI本店では、糸棚252と糸棚132を並べて設置しています。お客様からは、「糸を選びやすい」「見やすい」「教室がますます明るくなった」と大変好評です。